

空き家解消に向けて 地域の人たちの橋渡し役になりたい

今年4月、地域おこし協力隊[※]に着任した岸川さんは、現在空き家などの対策に取り組んでいます。燕市の魅力や今後の活動にあたっての抱負などを伺いました。



「以前から地方移住をしたいという思いがあつて、九州で暮らそうかと真剣に考えた時期もありました」

どこへ移住しようかと模索していた岸川さん。その過程で全国で活躍する地域おこし協力隊の活動を知ったそうです。

「テレビ番組などで取り上げられていく空き家問題を見て、関心を持つようになりまして。その中で、燕市では地域おこし協力隊が空き家への取り組みに携われるということを知り、移住して活動したいと思ったのです」

着任してから4カ月。燕市のスゴイと思うこともいろいろあるようです。

「お米や背脂ラーメンなどのうまさ
は口コミのとおりで、食が充実してい

岸川 悠二さん(東京都出身・吉田東町) ● 燕市地域おこし協力隊 (都市計画課)



◀ 現地調査をする岸川さん。



▲ 空き家・空き地の情報はこちら

る土地柄だと思えます。そして一番の魅力は、『ものづくりのまち』。普段から使っているさまざまな日用品の製造メーカーが、燕市内にたくさんあると知り、驚きの連続ですね」

現在の活動内容は、空き家・空き地バンクを活用した物件情報の発信や、現地調査など。これからの活動について抱負を伺いました。

「地域おこし協力隊の活動に周りの人たちからも熱心にサポートしていただき、やりがいを感じています。空き家は物理的に解消するだけではなく、その背景にある複雑な問題を解決しなくてはならない面もあります。今後、関係する人たちの間に入って解決の手助けをしながら、地域のために貢献していきたいです」

(注)市町村が都市部からの人材を受け入れ、「地域おこし協力隊」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住し、住民支援をはじめ、地域ブランドや地場産品のPRなどの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。

紙上ブログ

燕市長 鈴木カ



燕市PR大使でフルート奏者の本宮宏美さんが、年内での活動終了を発表されました。

本宮さんは、笛人として12年間活躍されるとともに、燕市PR大使として10年間、燕市の魅力発信に尽力されてきました。特に昨年は、大河津分水通水百周年をテーマとした「大河飛燕」を作曲し、記念の年を盛り上げていただきました。

笛人として最後のふるさとコンサートが10月9日(祝)に燕市文化会館で開催されます。また、ラストアルバムが9月1日(金)に発売予定です。本宮さんが奏でる心に響くメロディをぜひお聴きいただけると嬉しいですよ。

◀ こちらは有料広告です。

中継・東央エリア
ご利用世帯数
68,000
世帯

インターネット・ケーブルテレビ・電話

NCT

Wi-Fi
インターネット

アンテナ不要
ケーブルテレビ

通話料がオトク
固定電話

「お友達」と「ご紹介いただいたお客様」それぞれに

お友達紹介キャンペーン

5,000円分プレゼント!

※キャンペーンは予告なく変更・終了する場合がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話

0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。